

弓道ながの

第20号

発行：長野県弓道連盟
会長職務代理者
山川茂樹
〒396-0021
伊那市大学伊那3919-3
編集：県弓連広報部
印刷：株長野企画会講

年頭のご挨拶 率先躬行



会長職務代理者
山川茂樹

明けましておめでとうございます。希望に満ちた新春をご家族お揃いで迎えのことで存じます。

「和を以て世界をむすぶ弓の道」のスローガンの下、国際弓道連盟設立総会が若葉の映える昨年五月、京都において開催されました。本年四月十三、十四日には日本武道館において設立記念大会が開催されます。一般祝射に多くの県連会員の参加をお願いします。昨年は第五十一回全国高校弓道大会において下諏訪向陽高校の女子が団体



優勝を果たし、秋の第六十一回のじぎく国体で少年女子が近似的優勝、遠的三位と輝かしい成績を上げ、皇后杯二位、総合で八位となり目標の得点を挙げる事ができました。成年男子は近似的・遠的とも予選落ちとなり、全国台の力に一步及びませんでした。高校弓道の働きにより弓道長野の面目をようやく保つことができました。

中央審査に於いても昨年は六段六名、錬士八名、教士二名と例年に比較して

良い成績ではありません。一般の弓士の活躍と奮起を願うのみです。

秋の叙勲で名誉会長の宮沢廣先生が旭日双光章を賜りましたことは県弓連として大変喜ばしいことであります。心からお祝い申し上げます。

昨年の事業部会で十九年度の各事業部の計画が熱心に検討され、新年度の活動方針案ができました。役員総会で決定を図り県弓連の活発な活動の基になることを願っております。そのためには会員の協力が是非必要です。全会員の協力により各事業部の行事が遂行できます。講習会や、競技会等に積極的に参加して技術の向上と基本動作の修練に励み、正しい弓道を習得し、選手権や国体にまた昇段・昇格にその力を発揮することを期待しております。

本年は役員改選の年であります。昨年一月に現職の副会長栗林実先生、九月には現職会長古澤博先生と強力な指導者を失いました。両先生の県弓連に尽くした功績に対し感謝の意を表するとともに、この悲しみを乗り越え、新役員を中心にして、県弓連のますますの発展を期さなければなりません。年頭にあたり会員皆様のご活躍とご多幸を祈念してご挨拶と致します。

のじぎく兵庫国体

第61回国民体育大会

少年女子近的でV...



第61回国民体育大会 弓道競技

平成18年10月1日～4日 会場 川西市特設近似的・遠的弓道場 日本体育協会06頁141

左から
池上智美
牧内あかね
茅野さやか

※関連記事は3ページに記載

新年に思う

長野県弓道連盟名誉会長

宮澤 廣



新年あけ

ましておめでとうございます。皆様には御健

勝にて平成十九年の新年を迎えられたことを謹んでお慶び申し上げます。

昨年は正月早々の大雪に見舞われ寒い日が続き、夏には暑い日が連続の異常な年でした。世界的に見ても、ハリケーン、地震等、災害が多く発生しており良い年ではありませんでした。

その中でも県弓連としては、一月に副会長の栗林實先生、九月には会長の古澤博先生のご逝去と大変な悲しみをおぼえ心からお二人のご冥福をお祈りいたします。この中で全国高校大会で高校女子が優勝し、秋の国体においてこれ又少年女子が遠的第三位、近的優勝と大活躍をされ長野県弓道の名を高揚して頂き誠に喜ばしいことと感謝をいたしております。

私自身につきましては秋の叙勲で旭日双光章を受章できたことであります。

大変名誉なことであり光栄に思っております。これも偏に長野県弓道連盟会長様始め、役員及び会員の皆様様の御支援御指導のお陰と心から感謝しお礼を申し上げます。

叙勲の授章式は、東京赤坂プリンスホテルの大広間で行なわれました。家族同伴で出席し伊吹文部科学大臣から勲記と勲章が受章者の代表に手渡されました。その後十数台のバスに分乗して皇居に向かい豊明殿へ参内して天皇陛下に拝謁しお祝いのお言葉を頂きました。今も感激いたしております。

今年には災害のない県弓連会員がお元気で活躍できるよい年であってほしいと思っております。

今年に思うことは全日本弓道選手権大会において点数を上げられる選手の育成が急務と思えます。的中が良ければ点数が多くなります。思っていたが仲々点数が上がらないことは何故原因なのか考えさせられるところです。正射必中を心がけた射の修練が必要と考えております。いわゆる射品射格の表われる射、見る人を引き付ける射が必要であると思えます。昨年の高得点者の射を見



て良い点を研究したらどうかとも思う。その前に北信越地区内の選手の射も研究したらどうかとも思う。それは北信越予選会において上位で予選を通過できることが第一の問題であるからです。近年北信越地区代表選手が優勝していることを考えるからです。

ついで全日本弓道連盟の優秀地連の順位が上位に位置付けられるよう頑張る。即ち全国大会、国体、高校選抜大会、全日本弓道選手権大会等において上位の成績を上げなければならぬからである。

又中央審査会において合格者が少ないように思う。お互いに自分に厳しい修練をして自分の射の向上につなげて頂きたいと思えます。新年にあたり種々と思いを述べてみました。

謹賀新年

長野県弓道連盟

会長職務代理者

山川 茂樹
役員 一同



チャリティーバザー・長野支部忘年射会
○12月2日／長野市営

今年初めての試みとして「チャリティーバザー」を行いました。弓道関連の道具や書籍、りんご等々100点以上の商品が並びました。

射会では、一本の的中につき100円の寄付を頂くなど三七、八五〇円の基金が集まり、早速NHK年末助け合い運動へ全額寄付をいたしました。

射会の結果は、一位 水倉 敦、二位倉嶋三千華、三位 大山孝吉。



第61回

のじぎく兵庫国体を終えて(故古澤先生に謹んで報告します)

少年女子近的優勝、遠的3位の快挙

長野県弓道連盟強化部長 外 菌 公 毅

個人的なことですが、長い間国体に関わってきて今回ほど何かが起こりそうだと予感したことはない。このことは国体前の県体協なり、『弓道ながの』での私の強気の発言でも窺えるのですが、少女にも何度も「優勝できる力は充分あるのだから自信を持って」と励ましていました。その思いを更に強くしたのは予想だになかった古澤会長の御逝去の後でした。国体が大好きで並々ならぬ情熱と個性で指導して頂いた先生でしたのできつと守って頂けるといふ思いで今年の国体は古澤先生の弔い合戦だと誓い合いました。事実、実力とか運とかではない何というか目に見えない力で引っぱってもらっているという思いを何度もしました。

少女は近的の予選は15中でした。例年の予選通過ラインからすれば殆ど絶望的でした。それが17中以上7チームと16中がいなくて15中5チームから1チームという将に首の皮1枚でつながりました。少女の射詰競射は成男の

遠的予選の関係で練習会場にいて見ることができませんでしたが、その練習会場に北嶋先生が息せき切って走ってきて「予選通過した！」と知らせた。手を取り合って喜びました。成年男子にも伝え、皆で興奮しまくりました。その射詰競射も長野県が1番立最初に3本の中し、あとの4チームを1本も落せないというプレッシャーに追い込み1回で決定しました。翌日の少女の遠的予選も成男は近的予選のため応援できなかったのですが、またも北嶋先生が「跳んできて80点だった」と知らせてくれました。点数的をやったことがある人は分ると思うが、80点というと成年男子でもなかなか出る点数ではありません。だから私は前日の近的の予選のこともあったので、80点と聞いた時「あゝ2回で80点だったんだ」とがっかりして「え



118103 兵庫国体 西海市特設弓道場にて

えつ80点？」と言ってから待てよまだ2回目は終わっていないということに気がつき「1回でかい?」「そおっ」もう連日興奮しっぱなしでした。1回目は長野県の応援は北嶋先生だけだったそのうで手をたたきっぱなしで手が痛くなつたそうです。2回目は成男も応援できたのですが1手で当確が出て後の1手は鼻唄交じりであんな楽な応援も初めてでした。

決勝トーナメントの結果は遠、近共に既に新聞等で報道されて御存知と思いますが、遠的の準決勝で愛知県に的中では1本勝ちながら点数で1点差で惜しくも敗れた以外は堂々たる勝ちっぷりでした。特に近的は射形体配、間合すべてが他県を圧し、敗れた相手監督をして、これに負けても仕方がないと言わしめたほどでした。たくさん書くことがありますが今回は少女の

ことだけにしておきます。成年男子の皆さんごめんね。とにかく山川先生を始め、選手、監督、強化部員全員が口には出しませんでした。古澤先生の後押しを強烈に感じていました。生きておられたらどんなに喜んで頂けたらと思うとそれだけは残念でなりません。合掌

第25回全国高等学校選抜 弓道大会長野県予選会

○12月2日/県営飯田弓道場

〈男子〉優勝(豊科) 柏原遠・三宅大介・塚原拓也・竹内壯志

二位(阿智) 木下・五嶋・井坪・平岩
三位(大町) 松井・逸見・須澤・倉科
三位(伊那弥生登内・榎屋・清水・宮原) 優勝(飯田女子) 下沢栄・平澤
二位(飯田風越) 小川・酒井・山口・木下
三位(伊那西平沢・西村・富永・池上) 三位(下諏訪向陽) 五味・有賀・村松・小口

以上の結果、男女団体一位、および個人男子、木下裕太(阿智)、須山佳奈(志学館)(新人戦県大会結果による)が平成19年3月17日〜19日に水戸市で開催される第25回全国高等学校弓道選抜大会に出場。

宮澤 廣範士 晴れの叙勲受賞

長野県弓道連盟、名誉会長の宮澤廣範士(80)は
11月3日、旭日双光章受章の栄誉に輝かれました。



先生は昭和18年国鉄長野工場弓道部に入部され、坂西清信範士に師事、国体、全日本弓道選手権大会等数々の全国大会に出場され優秀な成績を収められ、また役職では、全日本弓道連盟理事、指導委員長、県弓連では常任理事、副会長、平成9年々13年まで県弓連会長を歴任され、現在は名誉会長として連盟に寄与されており、穏やかで円満なお人柄は、多くの方より尊敬されております。

ご健康に留意され、今後ますますのご活躍をお祈りいたします。

受章おめでとうございませう。

一略歴一

大正15年3月13日生(80歳)
範士九段 元長野県弓道連盟会長
現在 全日本弓道連盟理事
指導委員長(前)
県弓連名誉会長

〔受彰関係〕(抜粋)

- ・ 県体協有功賞受章 (昭和62年10月)
- ・ 全弓連40周年記念表彰 (平成元年10月)
- ・ 全弓連50周年記念表彰 (平成11年5月)
- ・ 日体協公認スポーツ指導者功績表彰 (平成8年3月)
- ・ 長野県知事体育振興功勞表彰 (平成13年5月)
- ・ 全弓連地連会長功勞賞 (平成13年5月)

〔指導歴〕

- ・ 全日本弓道連盟派遣講師 (昭和58年～現在)
- ・ 海外講習会派遣講師 (平成6年～現在)

平成18年度



○11月23日/塩尻市営/参加者103名
被表彰者24名

県連では18年度の全国大会入賞者及び昇段昇格を祝う弓道祭が盛会に行われた。

山川茂樹会長職務代理者の祝辞のあと、受賞者にはそれぞれ感謝状と記念品が贈られ、受賞者を代表して、役員退任の渡辺静夫前副会長(木曾)が謝辞を述べた。

被受賞者は次の通り(敬称略)

▽叙勲 宮澤 廣(長鉄)

▽役員退任 故古澤 博(飯山)

故栗林 實(小諸) 渡辺静夫(木曾)

▽昇段・昇格

教士 宮坂博之(諏訪) 重田 功(上小)

錬士 原田正浩(高中) 中山光康(飯伊)

上沼 茂(飯伊) 滝澤利夫(上小)

米沢美智子(長野) 山田清夫(松本)

細川とし(上小) 涌井和美(長野)

▽第51回全国高校弓道大会

団体女子の部 優勝(下諏訪向陽高校)

監督 代田 嘉弘

選手 中村 彩音 五味紗代子

小池 彩乃 高戸 風香

掛川 佳奈

▽第61回国民体育大会 少年女子の部

近的 優勝 遠的 3位

監督 永藤 聡

選手 池上 智美(赤穂高校)

牧内あかね(阿南高校)

茅野さやか(東海大三高校)

表彰式のあと、矢渡、射手山川茂樹

会長職務代理者(第一介添・古澤金蔵、

第二介添・高井忠史)で行われ引続き

参加者による祝射一手、被表彰者の答

礼射、一手皆中者による射詰競射が行

われた。

▽弓道祭射詰競射の結果

①久保田智恵(上伊那) ②永藤 聡(須高)

③内山 喜照(諏訪) ④降旗昭雄(諏訪)

⑤斉藤千恵子(木曾)

閉会后、会場を移し射詰の表彰式と祝宴会を行った。



表彰



祝射

連載④

私の歩んだ道

大久保秀雄

最高学年の5年生では、さらにたくさん
さんの大会に出場した。特に印象的だ
ったのが、10月31日に東京の国士館
専門学校で開催された全国中等学校生
徒弓道大会だった。

翌々日に行われた明治神宮奉納体育
大会への参加が一番の目的だったが、
腕試しになればという気軽な気持ちで
この大会にも出掛けてみた。

しかし、弓を担ぎ、一人会場の門を
くぐった瞬間、その独特な雰囲気
がすくんでしまった。国士館の学生同
士が大きな声で交わす「オース」「オー
ス」というあいさつの声を聞き、あの
恐ろしい応援練習を思い出してしまっ
たからだだった。

しかし、試合では平常心を取り戻し、
個人競射で4射行った結果、なんと参
加者200人中トップの優秀賞第1位
という成績を納めることができた。わ
れながらこれには驚いた。副賞は分厚
い廣辞林だったが、今でも大事に使っ
ている。

翌々日にあった明治神宮奉納体育大
会弓道の部には、県予選を勝ち抜いた
上位4人が男子中等学校の県代表とし
て参加。ちなみに私は、県予選では1
位だった。

惜しくも第一次予選を通過すること
はできなかったが、長商からは柳瀬有
道君も出場しており、この大きな大会
に母校から2人も出場できたことが本
当にうれしかった。

ちなみに当時は長商運動部黄金時代
で、この年、甲子園で準優勝まで行っ
た野球部はじめ、柔道部、剣道部、バ
レーボール部、バスケットボール部、
陸上部、射撃部からも計50人ほどがこ
の大会に参加していた。

さて、後日、国士館専門学校から勸
誘状が届いたが、あの独特な雰囲気
を思い出すと、とても入学を考える気
はならなかった。

この年の11月、「矢を離せば必ず当
たる」という強い自信があった私は、
弓道審査会において3段に昇格。弓道
部顧問の清水久太郎先生に追い付いた
のだ。当時、県内の中学生では2段が
最高だったため、特段の昇段だった。
なぜ、これだけ急速に昇段できたのか。

それは清水先生が射る姿をじつと見
ながら、意図的に的に当てようと矢を
発するのではなく、総体の力を込めて
つるを引いていくと、その力が最大点
に達したとき、自然に矢が離れていく
瞬間が訪れること。そして、そのよう
な射が最も美しく、かつ正確に的に当
たり、審査員の評価も高いという要点
をいち早くつかんだからだだった。

また、先生は「総体の力を配分して
つるを引きなさい」と教えてくれたが、
実際に引く時はどのくらいの力をかけ、

その時足先にはどれだけ力が入って
いるのか。先生の射を見ながら何回も練
習し、自分にとって一番合理的な力の
配分が会得できたからだったと思う。
毎日練習に明け暮れたたまもので、
まさに「継続は力なり」だった。

さて、5年生になって今後の進路を
考えるときがやってきた。
高等学校への進学は学資の面で無理
だと思い、では就職先をどうしようか
と考えていた矢先だった。友達から鉄
道に就職すれば汽車にただで乗れると
聞いた。

その時、脳裏に浮かんだのは「富士
山を見たい。東京へも行ってみてえな
あ」という、日ごろのおやじの言葉だ
った。

「鉄道に就職し、両親や弟たちを旅
行に連れて行ってあげよう」。親孝行の
つもりで私は、鉄道省に願書を出した。
筆記試験やら面接やらを経て、幸い
採用通知が届いたときには本当にうれ
しかった。

こうして昭和15(1940)年3月28
日、鉄道省新潟鉄道局長野工場の事務



昭和14年8月
長野商業学校卒業記念

係勤務となった。商業学校出身で即戦
力になるということもあったのか、経
理事務見習が社会生活の第一歩だった。
とても良い先輩に恵まれ、事務職とい
うことで夜勤もなかったおかげで、私
は仕事の傍ら弓道に励むことができた。
一日でも休むと3日分筋力が衰える
といわれていたので、とにかく練習は
欠かせなかった。

そこで、当時岡田にあった全国一の
規模を誇る弓道場、武徳殿に毎朝通っ
て練習をした後、栗田にあった長野工
場に出勤したものだだった。

武徳殿は、28戸離れた射場と矢場と
を結んで地下道があり、雨の日には外
に出ることなくの向かって射た矢を
取りに行くことができた。非常に立派
な施設で、昭和11(1936)年に武
徳会により建設されたものだだった。

当時は武道奨励を目的に組織された
武徳会の全盛期で、その力たるや強大
だったので、各県にこのような施設が
あった。

残念ながら弓道場は戦後、武徳会の
解散を機に取り壊されてしまった。あ
れだけの施設だったの
で、つくづくもった
いなきったと思う。

しかしまあそんなわ
けで、就職後も仕事と
両立しながら弓道に励
むことができる環境に
偶然にも恵まれたのだ
だった。(つづく)

第19回 全国健康福祉祭静岡大会

ねんりんピック静岡大会

監督兼選手 西塚 高雄



特別表彰受賞(高齢者賞)
仲田 耕 一選手(85歳)

私共平成18年度のねんりんピック静岡大会に参加してまいりました。

県代表として予選通過を目標に頑張りましたが18中以上の成績を上げられず不本意な成績に終り残念に思っております。

ただ今回の弓道交流大会に高齢者として仲田耕一(85)選手が特別表彰され、表彰状と賞品、立派な楯を受取られました。

交歓試合の参加107名中、四つ矢皆中者無し、二中〜三中に仲田選手が三中で入られ「敢闘賞」となり最高でした。ご支援を心から感謝申し上げます。

故古澤博範士に叙勲

長野県弓道連盟会長古古澤

博範士には、10月18日付、従六位旭日双光章が贈られましたので会員の皆さんにお知らせいたしますとともに心からのご冥福をお祈りいたします。



ねんりんピック出場の県選手

弓仲間紹介

木曾 菁莪館 会長 中村 久美

道場の脇正

面に「菁莪館」という額が掲げてあります。

故範士九段林亮天先生揮毫による我が道場の銘板です。



この菁莪館という名前は、木曾の代官山村氏が子弟の教育のために開いた私塾の校名であり、詩経の小雅からの出典でその意は「人を育てる、英才を教育する」という意味だそうです。

菁莪館の歴史は古く、戦前から旧楯川村の故教士七段滝沢徳雄先生らが先頭に立って弓道を始められたそうで、戦後ものない時代にあつて、射場も河原であつたり野原の野稽古であつたりと、大変なご苦勞をされてきたと聞いています。そして昭和43年待望の村営道場が完成し、今日に続いています。

この道場は、故滝沢先生をはじめ、土川俊市先生、渡辺静夫先生など多くの指導者に恵まれ、館名にふさわしい優れた弓士を育てていただいております。会員は、登録者が二十三人ですが、実

質的には十二〜三人が楽しんでます。

近年は、会員の高齢化や新規加入者が減ってきており、会員の増加をいかに図っていくかが目下の課題となっております。昨年楯川村が塩尻市と合併したため、本来なら塩尻支部へ所属すべきところですが、関係者のご理解によって引き続き木曾支部に所属しながら和気藹々と稽古に励んでいます。

練習は毎週木曜日、夜七時半頃から十時頃までが合同練習日であり、このほか個人的には好きな時間に好きなだけ弦音を響かせることができます。毎月第一木曜日には、土川先生のご指導により、全員が和服を着用し、体配、射技射法、審査のための講習などを修練しております。そして毎月二十八日は木曾支部会員合同参加により月例射会が開催され、会員の親睦や射技の向上に努めています。また、土曜日の夜には七時から八時半まで会員が交代で指導をし、地元の小中学生十五名ほどがスポーツ少年団の活動として弓道に励んでいます。

例年六月初旬に開催される県下楯川大会には、県内外から多くの弓士をお迎えし、盛大に大会を開催しています。沢山の豪華な賞品や名物の山菜汁が奈良井宿場祭りと共に好評で多くの弓士にお越しいただきたいと思っております。

第36回北信越弓道選手権大会

長野県女子有段者の部で一位!!

○11月12日/飯山市弓道場

★団体

▽男子有段者の部

- ①新潟県(中澤一哉・阿部広佑・藤田和彦) ②長野県(熊谷厚水・志村仁・井垣貴夫) ③石川県(友安正人・勝二秀典・楽満仁志)

▽女子有段者の部

- ①長野県(伝田千里・栗林薫・戸田裕子) ②新潟県(岡崎恭子・小

左から(伝田・栗林・戸田)



- 林里恵・大澤睦美) ③福井県(小島はるか・田端幸世・山本あけみ)

▽称号受有者の部

- ①新潟県(武樋弘之・小林正毅・高野直行) ②石川県(中條大輔・小西雅嘉・曾山良和) ③福井県(辻朝朗・定政晶・細川孝夫)

★個人

▽男子有段者の部

- ①友安正人(石川県) ②中澤一哉(新潟県) ③長岡英伸(富山県)

▽女子有段者の部

- ①大澤睦美(新潟県) ②栗林薫(長野県) ③小島はるか(福井県)

▽称号受有者の部

- ①曾山良和(石川県) ②高野直行(新潟県) ③細川孝夫(福井県)

◎総合優勝||新潟県

第38回北信越学生弓道選手権大会

○10月7日~9日/福井県立大学

参加17大学

▽男子団体(一部リーグ)

- 一位 信州大学 6勝0負
- 二位 新潟大学 5勝1負
- 三位 金沢工業 3勝3負

▽男子団体(二部リーグ)

- 一位 福井大学 6勝0負
- 二位 富山大学 4勝2負
- 三位 福井県立 4勝2負
- 四位 長野大学 4勝2負

▽女子団体(一部リーグ)

- 一位 信州大学 6勝0負
- 二位 金沢学院 5勝1負
- 三位 新潟大学 3勝3負

▽女子団体(二部リーグ)

- 一位 福井大学 8勝0負
- 二位 青陵大学 7勝1負
- 三位 仁愛女子短期大学 6勝2負

私と弓道

須高支部 松澤 みさ子

私が弓道と出会って早16年が経ちました。16年前までは弓というものを、見たり触れたりする機会が全くありませんでしたし、弓道はとても神秘的なもので、限られた人達だけができる特別のものと思っていました。ある時弓道教室の存在を知り、どんなものなのか体験できるならと考えて受講したのが弓道を始めのきっかけでした。

その年は25名程の受講生がいて、いろいろな年代の人達と一緒に弓道のイロハから教わりました。弓道という私にとって未知の『神秘の世界』に足を踏み入れ、先ず先生方の模範演武に引き込まれ、礼儀作法を教わったり体配を覚える事すべてが新鮮でした。しかしこと射技に関しては自分の体の動か



し方が自分でよく解らないという状態で、先生方の熱心な指導にも、弓の握り方、角見など全く理解できない事だらけ。難解な弓道用語にも四苦八苦。弓を引けばズリ矢ばかり。弓は神秘の世界からよく分からないものになり、『弓って一体何が面白いの?』といつも心で呟いていたものでした。それ以来ずつと地味な弓道修練の中何度か挫折しそうになった私でしたが、一緒に始めた仲間達が頑張っている姿に支えられ、ダメ生徒の私を根気よく指導して下さり、ほんの僅かな私の成長をも見逃さず「今の、よかった」と褒めて下さった尊敬すべき先生方のお陰で今まで弓を続けることができました。

本当に感謝の気持ちで一杯です。年月が経ち自分の生活や仕事の様子が変わり、道場へ向かう回数がかなり減ってしまっただけで今はその点で反省しきりの毎日です。体力の衰えも少しずつ感じてきている中、自分の親世代の諸先生方が凛とした弓を引いていらつしやる姿を目の当たりにする度、弓を続けてきて本当によかったと思います。自分もこれから先永く修練を重ね、いつか先生方の様な弓が引けるようになります。と心から願っています。

第57回全日本遠的選手権大会

○10月28日～29日

全日本弓道連盟中央道場

▽女子一次選考 30m+60m

清水 和代 12点(7点+5点)不通過

久保田智恵 21点(13点+8点)同

▽男子一次選考 30m+60m

木下 禄章 12点(9点+3点)不通過

大和 邦浩 31点(7点+24点)同

審査合格者

○北信越三県連合審査

10月22日/県営飯田弓道場

◆参段の部 4名

杉山滋志(上伊那) 相馬孝寿(安曇)

牛山正喜(飯伊) 佐藤文昭(同)

◆四段の部 2名

川上 徹(松本) 北原重寿(飯伊)

◆五段の部 10名(県外6名)

熊谷厚水(塩尻) 矢島ち志(諏訪)

関島美奈子(飯伊) 守屋道則(大北)

○定期中央審査

◆六段の部 11月4日 東京

池田 文英(上小)

○関東臨時中央審査

◆錬士の部 11月19日 山梨

深沢 健二(松本)

審査合格者(地方)

○10月8日/池田町弓道場

弓級 55名 初段 26名

式段 28名

逸見 哲・太田はるか・黒須のぞみ

大山 綾・片岡 映実・奥原 諒子

柴崎 貴充・吉田 明恵・森 祐樹

小笠原千穂・丸山あゆみ・増野 悦子

大槻あゆみ・寺島 光・高橋 恭平

松本奈保美・徳竹 美幸・山後 沙樹

塩原 彩香・上垣外裕美・花村友理子

太田 宏和・山本明日香・飯島 建太

平林 美里・久保 肇・今井理恵子

伊藤 容久

○10月8日/塩尻市営弓道場

弓級 91名 初段 31名

式段 23名

佐々木春奈・中村 春香・小林 大志

上沼 尚大・木村 紀子・須山 佳奈

下田 勇人・佐々木優衣・田口 俊樹

近藤安津子・畠山 善行・山岸 史絵

丸山ほなみ・大輪由香里・柳 恵

山崎のり子・神田穂奈美・清水 瑠未

岸田美沙子・大蔵 祐起・小見山恵里

矢野 幸雄・二村 和男

○10月15日/伊那市営弓道場

弓級 44名 初段 61名

式段 37名

織田 梓・小井土里絵・斉藤美沙子

兵永 恵美・栗原菜奈子・柳澤 希美

宮原 大夢・矢澤 千帆・土橋伸一郎

小澤 里奈・春日 朋也・新井 士人

樋屋 俊・中原 康太・小口紗矢香

前川 星花・森田 有紀・川井 久美

北原あいり・三浦 徹也・清水 一宏

山田日向子・林 貴史・萩村 美海

上田 恵里・埋橋 翔子・壺屋 勇

加藤 仁美・山本 奈未・伊藤 碧

岩波 哲也・岩出 俊治・池上 香苗

小林 元気・泉 桃衣・藤本 桂子

牛山 真弓

○10月29日/中野市営

参級 1名 式級 4名

弓級 97名 初段 24名

式段 17名

佐藤 大介・市川 貴邦・矢野 光一

伊藤 萌・田川 洋平・勝山 知美

塚田晃由佳・植田 尚樹・割田 淳

藤井 達郎・田中 友美・伊藤 利紗

小林 遼子・中村 直樹・関 直人

小林 弘幸・山崎 拓巳

○10月29日/上田市営

式級 3名 弓級 142名

初段 34名 式段 38名

荻原 僚・松山 彩奈・田中 沙季

水出 洋平・篠原 聖菜・中村 美月

青山 詠樹・柳澤 祐貴・菊原 早苗

宮下 龍成・関 格嵩・荻原佐紀子

大村 美咲・杉本佳奈美・山田 貴子

久保田真衣・柳澤 菜摘・合津 夏海

久家 築・渡邊 康太・山中 智紗

滝澤あゆみ・田澤 岳哉・柳澤 絵美

柳沢 武・渡辺 晃・尾和 美雪

小坂 豊太・山本 大智・田村 洸樹

早野 翼・師田龍之介・伊藤 拓也

増田幸太郎・田村 健太・栗林 薫

矢嶋くみ子・太田 和幸

参段 11名

柏谷 晶子・茅野さやか・小山 歩美

大貫 智也・石原 愛・三沢 健

有賀 理江・原 仁・唐木さき子

中村 禮子・中村 藤人

四段 8名

中村 宏・杉山 迪政・森山 慶彦

福田 剛・高橋 美紀・日比 貴桐

鷹野 裕章・田中 章

○10月29日/長野運動公園

参級 1名 式級 8名

弓級 173名 初段 27名

式段 29名

平林 俊也・堀口 将・金井はる香

割田 翔子・武 翔太・島田 真也

金子 悦巳・宮坂 佑子・宮崎あおい

○10月15日/池田町弓道場

第26回池田町秋季県下大会

各地大会 結果報告

清水 拓斗・酒井 彩夏・新井麻友美
小松あや子・齊藤 卓磨・宮沢 暁彦
渡辺 昂・小林 ゆか・石本清太郎
倉石慎太郎・矢島由紀子・山口 裕貴
轟 真宏・丸山今日子・河内 啓介
徳竹 宏幸・宮川 紗織・岡 杏子
山崎 冬樹・高野真奈美
○11月12日/県営飯田
式級 2名 壹級 88名
初段 71名 貳段 34名
木下 拓馬・岡庭 菜月・村田 直輝
上村 直哉・藤本 翔太・小平 春希
副与 彩奈・長澤 和樹・木下 知美
近藤 翔平・小島 稔央・酒井 智代
宮下 明彦・小木曾智成・吉村 大介
佐々木絵理菜・吉沢加奈子・北林 千佳
登内 政徳・友野 隆文・熊谷 祐希
高島 春樹・小木曾愛季・斎藤 琴美
足助 元・小松和佳子・藤田安梨沙
小林 溪太・那須野 梢・長谷部由華
佐々木俊樹・近藤 千恵・千葉 祐胤
下條 陽子

参加者313名

(一般) ☆団体①なにわ(岩垂昭彦・山口季史・守屋道則)②長野運動公園 A(宮島・長坂・本藤)③長野運動公園 G(佐藤・水倉・伝田)
☆個人①伝田千里(長野運動公園)
②守屋道則(大町)③本藤幸恵(長野運動公園)

(高校) ☆団体①松本深志A(田丸保乃花・濱 咲子・矢野萌子)②松本深志B(窪田・平林・永田)③池田工業 B(太田・逸見・隠岐)
☆個人①近藤安津子(松商)②松本奈保美(大町)③塚原拓也(豊科)

片瀬 茂

第18回松本城奉射大会

○11月3日/松本護国神社弓道場

参加者229名

長野市から富士見まで多くの弓友が参加し盛大な会が行われました。
近的個人8射

▽高校男子

①田村 永7中(松商)②柴崎貴充7中(蟻ヶ崎)③矢ヶ崎大輔7中(美須々)④名畑勝貴6中(穂高商)⑤曾我諒太5中(蘇南)

▽高校女子

平成19年秋田国体弓道競技 長野県成年男女1次予選通過者

Table with 2 columns: 成年男子 (14名), 成年女子 (9名). Lists names and affiliations of participants.

<12月3日/塩尻市営>

①村田智栄7中(穂高商)②高山明日菜7中(美須々)③大槻あゆみ6中(蟻ヶ崎)④小林 優6中(松商)⑤垣外裕美5中(美須々)

▽一般

①雨宮一明8中(諏訪)②土川俊市8中(木曾)③末吉正尚8中(信大)④大久保雅揮8中(松本)⑤高野真奈美7中(信大医)

千曲市長杯弓道大会(高校)

○11月3日/千曲市弓道場

参加者375名

▽男子団体

①長野吉田B(田川洋平・荒井祐磨・羽田克起・静谷洋紀・小林弘幸)②長野日大A(轟・廉澤・中村・千野・倉石)③須坂B(中村・関・佐藤・山崎・宮川)

▽女子団体

①下諏訪向陽(五味沙代子・小口紗矢)

香・有賀絵梨・早出千草・村松ひかる)
②長野商業A(神田・前島・岩田・高尾・清水)③長野吉田B(野口・北村・小池・中村・西山)

平成18年度 長野県高等学校 新入体育大会弓道競技会

○10月21・22日/塩尻市弓道場

(女子個人)①須山佳奈(志学館)②有賀絵梨(向陽)③田中明日香(長野)
(男子個人)①木下裕太(阿智)②曾我諒太(蘇南)③小林元気(赤穂)

(女子団体)①東海大三(鮎沢葵・茅野公香・柳澤有香・田村美幸)②伊那西C(小川・西村・中村・池上)③赤穂(山本・池上・百瀬・萩村)

(男子団体)①大町A(松井剛・逸見哲・須澤良光・倉科陽平)②飯田工業(木下・村田・田中・近藤)③長野日大(金井・山口・箕輪・廉澤)

第25回長野県教職員弓道選手権大会

○11月25日/岡谷市営弓道場
参加者25名



晴天に恵まれ、暖かな気候の中、今年度の生徒のインターハイ女子優勝、国体近的優勝、遠的3位に続けと、気合の入った大会となりました。

継ぎ矢の出現

11月20日の午後2時ごろ、長野市

善光寺弓道場において稽古中の竹内 博四段(写真)が継ぎ矢という珍しい出来事があり、早速写真におさめました。



会議報告

○11月25日/長野第一ホテル
常任理事会

〔議題〕・平成18年度事業実施報告

・平成19年度事業計画(案)

・県弓連規約改正について

・役員改選について

・その他

○12月10日/ホテル信濃路/長野市

事業部会

〔議題〕・平成18年度事業実施報告

・平成19年度事業計画(案)

・その他

◆今後の会議予定

19年1月14日 理事会 長野

1月28日 役員総会 長野

平成18年
ごめい福をお祈りします
(敬称略)

範士九段 古澤 博殿(飯山) 83歳

〃 八段 栗林 實殿(小諸) 78歳

教士七段 矢島敏晴殿(諏訪) 93歳

錬士五段 土屋芳子殿(上小) 57歳

〃 鈴木 親殿(上伊那) 84歳

錬士四段 大原瑞夫殿(飯伊) 79歳

〃 酒井敏裕殿(上伊那) 55歳

編集後記

新年あけまして、おめでとうございませう。

新らしき年の始の初春の

今日降る雪の いや重け吉事

— (大伴家持) —

弓士の皆さんも、新年を迎えられ、

人夫々に、思いを新たにされたこと、

と思います。

平成十四年一月に創刊号を発行し

てから、「弓道なごの」も五才の誕生日

を迎えることになりました。

編集に携ってきた一人として、色

んな思いが、過ぎります。

弓士の皆さんの、ご理解とご協力

のお蔭と感謝しております。

幼稚園の年長さんになった「弓道

なごの」も来年は、いよいよ小学校

入学となりますので、年頭を迎え私

達「広報部」一同は、益々決意を新

に、実に充実した「弓道なごの」に

育てていきたいと思ひます。それに

は、皆様のご協力なくしては、かな

いませぬ。

どうか、よろしくご意見、ご寄稿

をお寄せ下さい。

大山 孝吉

謹賀新年

全日本弓道具協会会員

中島弓具店

有限会社



限りない弓道心に
真心で御手伝い



〒380-0935

長野市中御所1丁目12番5号 TEL 026-228-3443 FAX 026-223-4855